

FRaU

フラウ
1/10
430 YEN



私の住む
美しい部屋
私が作るインテリア

1995年

部屋と暮らす



私の美しさを作る
化粧の超整理法

上野万梨子フランス流
女の「タイト」

運命も左右する
「いい部屋・ウルイ部屋」

長崎へ！
ぎやまん時間旅行
目においしい！
春の白を着る



主張のある部屋。
インテリアの流行実例研究
彼に買わせたい家具総図鑑
パリ・私生活のある女の部屋



本を読む人の顔は美しい！ ロマンズよし、ミステリーよし、この本に恋してる

10年をかけて、人生の目標 「ナチュラルル」を実現した家

ロクサン・ベイス 31歳・モード&デコデザイナー



見せる収納で飾る楽しみをアップさせる

1洗面台の下のタオルは、白いタイルに映える淡いカラーで統一。雑になりがちな日常的部分こそ緻密な計算で美しく住まう。2初めから見せる収納を意識して作ったキッチンスペース。ワインボトルの高さに合わせてくり抜いた空間(!)など、随所に細心の心配りがなされている。「見える」ということは必要最低限の物だけ厳選せざるをえないので、無駄のないライフスタイルが生まれる。3仕事部屋のコーナー。素材を詰めたビンもデコレーションに。



本当に欲しい物だけを手作り

モードのデザイナーとしてイタリアで活躍しているロクサンにとっての本拠地は、パリと言うよりもミラノを中心とするイタリアであって、パリのアパルトマンは、むしろ余暇を楽しむためのヴァカンス・ハウスといったところだ。イタリアを選んだ理由、それは、何よりも自由気儘に仕事ができる土壌、メンタリティーが自分に合っているからだという。自由で自然体、ナチュラル、という言葉がロクサンの人生のキーワードだから、パリ(と言ってもパリの近郊、ルヴァロワという地区で人気急上昇)のアパルトマンも、徹底してナチュラルテイストのインテリアで統一している。最近マリ・クレール、メゾンという雑誌に紹介されたばかりだ。

このアパルトマンを購入したのは今から10年程前になる。当時は手のつけられない程の廃屋だった。現在アトリエとして使用している屋根裏の階と、その下の階のサロン、キッチンetcを含めると、全部で300㎡ほどの広い面積になる。

10年間かかって、文字通りロクサン自らの手で、自分の気持ちに忠実に、好きなものを、自分を取り巻いていて欲しいものだけを創ってきた。パリのメトロのタイルにヒントを得て創ったという廊下の





ひとひねりある、緑の飾り方を参考に

4体を沈めた時に見えるよう置かれたグリーン。置くものと垂らすものを組み合わせるのがコツ。5ロクサンの手作りテーブル。バリ15区のプチックでもうすぐ売り出す予定で、現在注文が殺到中。中央の丸い穴から植物の枝の部分を観かせ、テラスの樹の下で食事をしている雰囲気にしたかったそう。本当は写真よりもっと背が高く枝が四方に垂れ下がっている植物を置くべきだけれど、現在それを探している最中。



12
11
メイイクを一度もした事がないというロクサン、ナチュラルが一番気持ちがいいだけ」

も、タオルや石鹸ひとつひとつも、この微妙な色あいの法則をはみ出しているものはひとつもない事に気づく。これまで趣味で作ってきたロクサンの家具も、もうすぐバリのプチックで商品化されることになった。

パリに居ながらにして南仏やイタリアのカントリーハウス雰囲気、味わえる秘密。それは、見事に統一された淡いパステルトーンの色彩だ。コーヒークップにしても、タオルや石鹸ひとつひとつも、この微妙な色あいの法則をはみ出しているものはひとつもない事に気づく。これまで趣味で作ってきたロクサンの家具も、もうすぐバリのプチックで商品化されることになった。



ウッディな小物で清潔感あるナチュラルライフ

102階の主寝室。天井から朝日が降り注ぐ。蚤の市で見つけたガラクタ同様の木のベンチにペンキを塗り、ろうそくの色まで全体のカラートーンを揃えた。11浴室横のバス用品も、ディスプレイしつつ使う方式。近くのプチック、ロクサンで。12玄関。動物のマスクに光を当てて意表をついた照明効果を狙っている。木のカーテンレールでナチュラルテイストをアピール。扉はロクサンがペインティングしたもの。小窓から外を覗ける仕組みになっている。13キッチン調理スペースの壁には毎日使うものを木のフックにつり下げて収納。細かいアイテムひとつひとつも色を厳選して、好きなものしか置かないことが美しくまとめるコツ。この他にも階段の天井からカゴをつり下げ、その中に薬品類など雑用品をうまく収納したりしている。



白でまとめた自然体の空間

6サロンの全景。家具は低めに抑え、白の爽やかさを強調。71階にある副寝室。東南アジアで仕入れたカゴや古いスーツケース、カーテンを利用してコンパクトにまとめた収納スペースも手作り。8サロン手前、レンガを白く塗った暖炉。キッチンと会話できるような壁に穴をあけて。91階の廊下。メトロの壁を真似て白いタイルを貼りつけた。